

令和6年1月23日  
教育総務課

## 令和5年第4回区議会定例会（代表・一般）における主な質問について

### 1. 議会日程等

会期：令和5年11月28日（火）～12月7日（木）

（1）代表質問 11月28日（火）・29日（水）

[ 質問者：5会派5名 ]

（2）一般質問 11月29日（水）・30日（木）

[ 質問者：31名 ]

### 2. 主な質問要旨等

別紙「令和5年第4回区議会定例会（代表・一般）における教育（文教）領域の主な質問・答弁の要旨」のとおり。

### 3. 世田谷区のホームページにおける閲覧

区議会本会議における全ての質問及び答弁については、世田谷区ホームページ上の「世田谷区議会」の「議会中継」又は「会議録検索システム」にて閲覧可能です。

※「会議録検索システム」における令和5年第4回定例会の内容については、2月中旬公開予定。

## 【別紙】

## 令和5年第4回区議会定例会(代表・一般)における教育(文教)領域の主な質問・答弁の要旨

## &lt;代 表&gt;

※敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
スポーツに親しめる場の整備	自 民	宍戸 三郎	学校教育 部長	体力の向上には幼児期から運動を習慣化することが肝要だ。校庭や体育館などの既存施設を活用し、子どもが大人や高齢者と一緒に運動を楽しめる場を整備せよ。	小学校の遊び場開放事業の拡充や周知に取り組む。
不登校の未然防止策の推進	自 民	宍戸 三郎	教育長	不登校対策には学びの場の整備はもとより、不登校を未然に防ぐ取組も必要だ。他自治体が個性に合った学びの環境の確立などを目指す中、区の方策を示せ。	通いたくなる学校へ変革するため、各校を全力で支援する。
ほっとルームの設置拡大	公 明	河村 みどり	教育長	不登校の児童生徒は増加傾向にあり対策が急務だ。クラスになじめない子どもが安心して教室以外の別室に登校できるほっとルームを早急に全校に設置せよ。	現在15校からの拡充に向け、6年度に早急に整備を進める。
教育相談事業の周知強化	公 明	河村 みどり	教育総合 センター長	私立校に通う家庭には不登校支援窓口などの相談事業の情報が十分届いていない。全ての家庭に情報が渡るよう周知を強化せよ。	ホームページへの分かりやすい表記などに努める。
有機米を使用した学校給食の推進	共 産	坂本 みえこ	教育政策・ 生涯学習 部長	学校給食への有機米の導入が始まった。安全で安心な給食を提供するため、6年度以降も継続するとともに実施回数を増やせ。	回数の増加を含め、安定的に提供できるよう検討する。

## &lt;一 般&gt;

※敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
図書の宅配ロッカーの整備	世田谷	ひうち 優子	教育政策・ 生涯学習 部長	図書を24時間いつでも無人で受け取れ、返却もすることができる「ブックボックス」が全国の公立図書館で活用されている。区でも図書館不便民域に整備せよ。	実施予定のモデル設置の効果検証を行い、拡大を検討する。

< 一般 >

※敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
学校給食での有機米活用の拡大	立憲れ	中山 みずほ	教育政策・生涯学習部長	我が会派が食育や自然環境保護の点から求めてきた給食への有機米活用を5年度に6回実施することを評価する。今後の拡大に向け、6年度はどう取り組むのか。	仕入先の拡大など、有機米の提供をしっかりと軌道に乗せる。
性自認の軽視も誤りではないか？	虹	上川 あや	学校教育部長	同会派は旭小の人権教育を否定し性自認を軽視するが国通知や司法判断に背く考えだ。区はその子の人格の一部をなす性自認を否定せず寄り添う姿勢を堅持せよ。	心情に寄り添い、生き生きと学校生活を送れるよう努める。
教員不足解消に向けた取組	共産	たかじょう 訓子	学校教育部長	35人学級の実施などにより教員不足に拍車がかかっている。長時間労働の是正など教員の負担軽減のため非常勤講師を年間雇用できる制度の創設を都に要望せよ。	人手の確保や学校支援の観点から都に年間雇用を要望する。
インクルーシブ教育の実現	立憲れ	桜井 純子	学校教育部長	インクルーシブ教育ガイドライン作成委員会の議論は分離教育の思考から脱するものにするべきだ。委員会の再構築と現状の拙速な議論を改めることを求める。	年度切替えなどで委員会を再構成し、課題について検討する。
タブレットを活用した学習支援	都 S	佐藤 美樹	教育総合センター長	学習障害のある児童にとってタブレットを活用した学習支援は大変有効だ。各学校でアプリの活用研修などを実施し、一人ひとりの状況に応じた支援を拡充せよ。	特別支援教育を担当する教員向けにアプリの活用研修を行う。
包括外部委託導入への体制整備	公明	佐藤 ひろと	教育政策・生涯学習部長	区は施設の効率的な維持管理に向け抜本的に業者委託の手法を見直す。災害時などの緊急対応も踏まえ、地域に精通した区内事業者が参入できる制度を構築せよ。	区内事業者の協力が得られるよう慎重に制度設計を進める。
子どものネット依存傾向への対策	自民	河野 俊弘	教育総合センター長	区のアンケートから区内の小中学生のネット依存傾向が明らかになった。ネットの適切な使い方を子どもと保護者が学べるよう、専門家による講座などを実施せよ。	医学的な知見などを取り入れた保護者対象の講座を実施する。
愛国心を育てる教育の推進	参政党	岡川 大記	学校教育部長	教育基本法の「我が国と郷土を愛する」という教育目標に則した区の教科日本語は子どもに活力を与えるすばらしい授業だ。今後も愛国心を育む教育に力を注げ。	学習指導要領に基づき、日本文化を継承する教育に取り組む。

## &lt;一般&gt;

※敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
不登校の子どもを減らす方策	参政党	岡川 大記	学校教育 部長	奈良市立都南中は教職員と生徒、保護者間の関係性を改善するために心理学の手法を導入し不登校生徒を激減させるなど、成果を上げている。区でも導入せよ。	心理学的なアプローチを含めて様々な手法を研究していく。
学校でのオーガニック給食の推進	参政党	岡川 大記	教育政策・ 生涯学習 部長	オーガニック給食を進めるには生産量が少ない有機米をいかに確保するかが肝心だ。有機栽培農家への伴走型支援や川場村の農家との交流を進め着実に確保せよ。	取引農家の拡大や川場産の有機農産物の活用などを検討する。